

エージェントの設定および修復



製品番号 : 381268-192

2005年8月, 2 版

©Copyright 2004-2005 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

目次

製品概要	3
手順	3
関連項目	3
法的な注意事項	3
保証	3
制限つき権利の一覧	3
著作権表示	4
商標表示	4
リビジョン履歴	4
概要	5
関連プロシージャ	5
関連項目	5
最新情報	6
関連項目	6
概要	7
関連プロシージャ	7
関連項目	7
エージェントの設定および修復	7
関連項目	11
ログ結果	12
関連項目	14
用語集	15
索引	17

製品概要

エージェントの設定および修復機能は、ローカルまたはリモートシステム上のHP Systems Insight ManagerでサポートされるWindows、Linux、およびHP-UXシステムのSystem Management HomepageまたはマネジメントHTTPサーバの信頼関係、SSH認証の設定およびWBEMイベントのサブスクリプションを作成、SNMP設定の証明書を修復ことを可能にするHP Systems Insight Managerの機能です。

注:



マネジメントHTTPサーバ4.x以前のシステムでは、エージェントの設定および修復はマネジメントHTTPサーバのSNMP設定の保存および修正にAdministratorパスワードを追加します。ただし、マネジメントHTTPサーバ4.x以前が信頼関係をデプロイしていない場合、信頼関係の情報を変更できません。

手順

- 概要

関連項目

- エージェントの設定および修復

法的な注意事項

本書で取り扱っているコンピュータソフトウェアは秘密情報であり、その所有、使用、複製には、HPから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211と12.212に準拠して、商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェア文書、商用項目の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダの標準商用ライセンスで米国政府にライセンス供与されます。

ここに掲載されている情報は、通知することなく変更されることがあります。HP製品とサービスの唯一の保証は、製品とサービスに付属する、明示的な保証声明で規定されます。ここに掲載される情報は、その他の保証を構成するものとして解釈されません。HPは、ここに含まれる、技術的または編集上の誤りや不作為の責任を負いません。

保証

HP製品に適用される特定保証条項の複写、および交換部品は、最寄の販売保守事務所から入手できます。

制限つき権利の一覧

米国政府による使用、複製、開示は、DOD機関用のDFARS 252.227-7013に記述されているRights in Technical Data and Computer Software条項のサブパラグラフ (c) (1) (ii)、およびその他の機関用のFAR 52.227-19に記述されているCommercial Computer Software Restricted Rights条項のサブパラグラフ (c) (1) と (c) (2) に規定されている制限を受けます。

HEWLETT-PACKARD COMPANY 3000 Hanover Street Palo Alto, California 94304 U.S.A.

このパックで提供される、この文書とすべての支援ソフトウェアメディアの使用は、この製品のみに制限されます。プログラムのコピーは、セキュリティとバックアップのみを目的として作成できます。現在の形式で、または変更してプログラムを再販売することは、明示的に禁止されています。

著作権表示

©Copyright 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標表示

すべてのHP 9000コンピュータのHP-UX Release 10.20以上とHP-UX Release 11.00以上（32ビット設定と64ビット設定の両方）は、Open Group UNIX 95ブランド製品です。

Intel、Celeron、Itanium、Pentium、Xeonは、米国とその他の諸国における、Intel Corporationまたはその関連会社の商標または登録商標です。

Javaは、米国における、Sun Microsystems社の商標です。

Linuxは、米国における、Linus Torvaldsの登録商標です。

Microsoft、Windows、およびWindows NTは、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

リビジョン履歴

改訂履歴

改訂 第1版

2004年11月

MPN: 381268-191。第1版には、Windowsの情報およびタスクが記載されています。

新バージョンが使用可能になったときに新バージョンを受け取るため、適切な製品サポートサービスを受けてください。詳細については、HP販売担当者に問い合わせてください。

概要

エージェントの設定および修復機能を使用して開始するには、以下のガイドラインに従ってください。

1. HP Systems Insight Managerシステムから検出を実行し、必要な設定が修復されたかを確認します。詳しくは、HP Systems Insight Managerのオンライン ヘルプを参照してください。
2. エージェントの設定および修復を使用して、修復タスクをデプロイします。詳しくは、エージェントの設定および修復項を参照してください。

関連プロシージャ

- エージェントの設定および修復

関連項目

- 製品概要

最新情報

エージェントの設定および修復では、次の改善および修正を最新のリリース以降で提供します。

- 管理対象システム上のOpenSSHのいくつかの局面での設定および修復
- 管理対象システムでWBEMイベントのサブスクリプションを作成を有効にしました
- HP-UXおよびLinuxオペレーティング システムのサポート

関連項目

- 概要

概要

システムまたはシステムのグループとの通信にHP Systems Insight Managerを利用できない場合、設定の修復にエージェントの設定および修復ツールを使用することができます。エージェントの7.2以降がインストールされている場合、エージェントの設定および修復ツールは、SNMP設定およびHP Systems Insight Managerとターゲットシステムとの間で確立していた信頼関係を修復することができます。7.1以前のエージェントがインストールされている場合は、ターゲットシステム上のWebエージェントのパスワードをアップデートすることができます。

エージェントの設定および修復機能は、セキュリティ、トラップコミュニティ名、および信頼関係の設定をターゲットシステムに追加しますが、既存の設定を修復することはありません。ターゲットシステムの既存の設定を修復するには、HP Systems Insight Managerのエージェント設定のレプリケート機能を使用してください。

その他多くのHP Systems Insight Managerツールと連携し、エージェントの設定および修復はスケジュールで自動的に実行するように設定したり、手動で実行することもできます。

注:



エージェントの設定および修復機能は、Windows NT 4.0をサポートしていません。

関連プロシージャ

- エージェントの設定および修復

関連項目

- 製品概要

エージェントの設定および修復

システムに対してエージェントの設定および修復をリモートから実行するには、エージェントの設定および修復ツールを実行するための権限が必要です。

標準の設定でAdministratorオペレーティングシステムアカウントを無効または変更する場合は、Windowsシステムが設定されたときに、変更されたAdministratorアカウントはエージェントの設定および修復ツールで使用されます。

ノードセキュリティファイル内にHP Systems Insight Managerのコミュニティ名を変更するための完全なCMS設定権限が必要です。さらに、エージェントの設定を変更または修復するためにはターゲットシステム上で、Windowsシステムではadministrator権限、LinuxおよびHP-UXではroot権限が必要です。

注：Windows CMSは、エージェントの設定および修復機能をリモートシステムのWindows、Linux、またはHP-UXオペレーティングシステムに設定することができます。Linux CMSまたはHP-UX CMSは、エージェントの設定および修復機能をリモートシステムのLinuxまたはHP-UX

オペレーティングシステムに設定することができます。Windowsシステムは、Windows CMSからのみ設定することが可能です。

リモートでエージェントを設定するには、次の手順に従います。

1. メニューから[ツール]を選択します。[ターゲットシステムの選択]ページが表示されます。

注：ツールを選択する前にターゲットが選択されていた場合は、[ターゲット システムの確認]ページが表示されます。

2. 最初にドロップダウンボックスのグループから選択してターゲットを追加すると、選択されたグループの内容が表示され、ターゲットとして選択されます。または、["グループ"自体を選択]チェック ボックスにチェックを入れて、グループ自体を選択します。

3. [適用]をクリックします。[ターゲット システムの確認]セクションにターゲットが表示されます。

注：ツールとの互換性のないターゲットが選択されていると[ツール起動OK?]の列に問題について簡単な説明が表示されます。ターゲットを削除するには、削除するターゲットを選択し、[ターゲットの削除]をクリックします。

4. 次のいずれかのオプションを選択します。

- [ターゲットシステムリスト]にさらにターゲットを追加するために[ターゲットの追加]をクリックします。
- ターゲットを削除するには、削除するターゲットを選択し、[ターゲットの削除]をクリックします。
- ツールのパラメータおよびタスクのスケジュールを指定するために、[次へ]をクリックします。

5. [戻る]をクリックすると、前のページに戻ります。[認証情報を入力]ページが表示されます。

6. [認証情報を入力]ページで、次の手順に従います。

- a. [ユーザ名]フィールドに、システム管理者のユーザ名を入力します。
- b. [パスワード]フィールドに、前の手順で入力したユーザ名のシステム管理者パスワードを入力します。
- c. [パスワード]フィールドに入力したものと同一システム管理者パスワード再度、[パスワードの確認]フィールドに入力します。
- d. Windows管理対象システムでは、[ドメイン]フィールドに、Windowsドメインを入力します。

注：この手順で使用される認証情報は、選択されたすべてのターゲットシステムで有効でなければなりません。ドメインのadministratorまたはroot認証情報を使用することをおすすめします。

7. [次へ]をクリックします。[戻る]をクリックすると、前のページに戻ります。[構成または修復設定]ページが表示されます。

使用できるオプションは次のとおりです。

- SNMPの設定。SNMPの設定を変更する場合に選択します。

このオプションを選択した場合、次の手順で設定されます。

1. [読み込みコミュニティ名の設定]を選択し、コミュニティ名を指定します。デフォルトでは、HP Systems Insight Managerの最初のコミュニティ名（非公式）がワールドに表示されます。HP Systems Insight Managerにコミュニティ名が存在しない場合は、入力する必要があります。

注：このとき、デフォルトのSNMPがインストールされたHP-UXシステムだけが設定されている場合、このオプションの選択を外すことができます。HP-UXは、デフォルトで読み出すことができます（HP-UXシステムのデフォルトでget-community-nameはpublicに設定されています）。

注：このオプションを選択した場合、[読み取りのみ]のコミュニティ名がターゲットシステムに追加されます。ターゲットシステムがSuSE LinuxまたはMicrosoft Windows 2003の場合、管理対象ノードはノードとリモートホスト間のSNMP通信を常時許可しません。この設定は、これらのターゲットシステムとSNMP通信するために、HP Systems Insight Managerシステムのインスタンスを許可するように修正されました。

注：コミュニティ名は、最大255文字まで入力できます。

注：SNMP設定の修復は、現在1つも存在しない場合、ターゲットシステムに[読み取り、書き込み]のコミュニティ名を追加します。このコミュニティ名は、各システムで固有で、文字と数字を含め30文字以上から構成され、そのシステムの管理者権限のあるユーザにのみ表示されます。[読み取り、書き込み]コミュニティ名は、特定のスレッシュホールド設定機能を実行するためにWebエージェントから要求されます。このコミュニティ名は、ターゲットシステムのローカルでのみ使用され、ネットワークを通してHP Systems Insight Managerから使用されることはありません。LinuxおよびHP-UXシステムは、[読み取り、書き込み]のコミュニティ名を必要としないため、[読み取り、書き込み]のコミュニティ名はWindowsシステムのみ追加されます。

2. ターゲットシステムの[SNMPトラップ送信先リスト]から[HP Systems Insight Managerのこのインスタンスを参照するトラップを設定]を選択します。これで、ターゲットシステムは、SNMPトラップをHP Systems Insight Managerに送ることができます。
- 信頼関係：[証明書による信頼]に設定。System Management Homepageでシステムに[証明書による信頼]信頼関係を使用するようにシステムに要求するにはこのオプションを選択します。

ターゲットシステムのSystem Management Homepageでは、このオプションは信頼モードを[証明書による信頼]に設定し、HP Systems Insight Managerシステム証明書をターゲットシステムの信頼済み証明書にコピーします。これは、HP Systems Insight ManagerユーザがSystem Management Homepageに接続するのを認証に証明書を使用することで可能にします。

注：Linuxで信頼モードの設定で問題が発生した場合は、HP Systems Insight Managerのオンラインヘルプの「トラブルシューティング」、「証明書の問題」を参照してください。

- Insightマネジメントエージェントバージョン7.1以前の管理者パスワードの設定。このオプションを選択すると、WindowsおよびLinuxシステムに適切なターゲットシステムにインストールされたすべてのInsightマネジメントエージェントの管理者パスワードを修復します。

注：Insightマネジメントエージェント7.2以降がインストールされている場合は、このオプションを選択しないでください。

注：リモートシステムがHP-UXを実行している場合、HP-UXシステムには適応されていないため、リモートシステムではこのオプションは実行されません。このとき、HP-UXのターゲットシステムだけが設定されている場合、このオプションの選択を外すことができます。

このオプションを選択した場合、次の手順で設定されます。

1. [パスワード]フィールドに、新しい管理者パスワードを入力します。
2. [パスワードの確認]フィールドに、先ほど入力した新しい管理者パスワードを再度正確に入力します。

- セキュアシェル（SSH）アクセスの設定。

このオプションを選択した場合、次のオプションのうちいずれかを選択します。

○ ホスト ベース認証

○ 各ユーザは管理されたシステムで認証される必要があります

注：選択したシステムにLinux、HP-UXが含まれていて、HP Insightマネジメントエージェントバージョン7.1以前のSNMP設定、信頼関係、および管理者パスワードを変更するオプションが選択されている場合、すでに設定されているものを除いて、SSH認証が選択されている必要があります。

注：OpenSSHサービスが管理対象システムで実行されている場合にだけSSHを設定できます。OpenSSHは、[展開]->[ドライバ、ファームウェアおよびエージェントのインストール]->[Open SSHのインストール]の[Open SSHのインストール]ツールを実行することで、Windowsシステムにインストールできます。

- WBEMイベントのサブスクリプションを作成。

注：このオプションは、LinuxおよびHP-UXシステムにだけ適用されます。このオプションを選択した場合、ターゲットシステムは、HP Systems Insight ManagerにWBEMの表示またはイベントを送信するように設定されます。

注：WBEMイベントの署名は、管理対象システムにWBEMイベントプロバイダがインストールおよび実行されている場合にのみ作成することができます。

8. [すぐに実行]をクリックします。[戻る]をクリックすると、前のページに戻ります。[タスク結果]ページが表示されます。

注：このタスクを後で実行するには、[スケジュール]をクリックします。

注：エージェントの設定および修復ツールは、それぞれ潜在的に異なる結果となる複数のターゲット システムのアップデートに使用されます。hprepair.logは、stdoutタブに情報を表示するために使用されます。ログ結果は、修復が正常に行われたかを表示します。

注：Linuxシステム上で、別々のタスクとして実行された、SNMP設定の修復、信頼関係の修復、およびInsightマネジメント エージェントバージョン 7.1以前の管理者パスワードの修復などは、タスク ログ メニューで確認することができます。別々のタスクとして実行された、SNMP設定の修復、HP-UXの信頼関係などは、タスク ログ メニューで確認することができます。LinuxおよびHP-UXシステムが選択されている場合、2つのTask ID（1つはLinux用、もう1つはHP-UXシステム用）があります。

[タスク結果]ページに次の情報が表示されます。

- ステータス。タスク インスタンスのターゲット システムごとに、詳細が表示されます。
- 終了コード。実行可能プログラムが正常かエラーかを表します。戻り値がゼロか正である場合、実行可能プログラムは正常に実行されました。負の値が返された場合、実行可能プログラムはエラーです。
- ターゲット名。ターゲットの名前/IPアドレスが表示されます。
- 標準出力タブ。出力テキスト情報が表示されます。
- 標準エラー タブ。実行可能プログラムでエラーが発生したかどうかに関する情報が表示されます。
- コピー済みファイル タブ。コピー中のファイル、またはターゲット システムにコピーされたファイルが表示されます。
- 印刷可能なレポートの表示。現在選択しているターゲット システムのレポート、またはタスク インスタンスに関連しているすべてのターゲット システムのレポートを印刷できます。

レポートを印刷するには、次の手順に従います。

1. [印刷可能なレポートの表示]をクリックします。

[オプション メッセージ]ボックスが表示され、現在選択しているターゲット システムのみを含むレポート、またはタスク インスタンスに関連するすべてのターゲット システムを含むレポートを生成するかどうか質問されます。

2. 印刷するレポートを選択します。
3. レポートを印刷するには、[OK]をクリックするか、[キャンセル]をクリックして[タスク結果の表示]ページに戻ります。

9. マネジメントHTTPサーバがターゲット システムにインストールされている場合、ログイン証明書がマネジメントHTTPサーバパスワード ファイルにアップデートされます。

関連項目

- 概要

ログ結果

出力されるログ結果：

- 正常
 - Successfully updated the administrator password (for Insight Management Agents version 7.1 or earlier) .
 - Successfully created a unique SNMP READ-WRITE community string needed by the HP Web Agent.
 - Successfully changed SNMP setting to accept SNMP requests from this instance of HP Systems Insight Manager.
 - Successfully added this instance of HP Systems Insight Manager to the SNMP trap destination list.
 - Successfully added this instance of HP Systems Insight Manager to trusted certificate list for Insight Management Agents 7.1 or earlier.
 - Successfully updated the SNMP READ-ONLY community string.
 - Successfully added this instance of HP Systems Insight Manager to the trusted certificate list for System Management Homepage 2.0 or later.
 - Successfully restarted the Insight Management Agents. All successful changes will be effective.
 - Successfully updated the permissions for the target server's SSH folders and files.
 - Successfully added user to the target server's SSH passwd file in order to enable user authorization based SSH.
 - Successfully added user to the target server's SSH passwd file in order to enable user authorization based SSH.
 - Successfully removed duplicate entries in passwd file.
 - Successfully modified SSH target server's password file to allow the renamed Administrator account name.
 - Successfully HPSIM TDEF files for a renamed Administrator account name.
 - Indication subscription successfully created.
 - Successfully configured SSH for host based authentication.
 - Successfully configured SSH for host based authentication.
- マイナー
 - SNMP is not installed on this system, so no SNMP settings were altered.To install SNMP, go to Control Panel and add the Windows component of Simple NetWork Management Protocol.
 - SNMP READ-ONLY community string not updated because it already exists with different rights.

- Successfully created a unique SNMP READ-WRITE community string needed by the HP Web Agent.
- Successfully created a unique SNMP READ-WRITE community string needed by the HP Web Agent.
- Array Configuration Utility is running. Not all changes will be effective. Manually restart the target server when convenient.
- No settings were changed. There are no management applications utilizing the System Management Homepage present on this system.
- Failed to create indication subscription.
- Error: Identification launch exception.
- メッセージ
 - The operating system on the target is not supported.
 - The HP repair tool will not run unless the supplied credentials are for an OS administrator. Provide correct OS administrator credentials for this target and run the Configure or Repair Agents tool again.
 - No input data was supplied to the HP Repair tool.
 - Insufficient memory to run HP Repair tool on target system. Stop unnecessary services on the target and run the Configure or Repair Agents tool again.
 - SNMP READ-ONLY community string not updated.
 - Failed to change SNMP setting to accept SNMP requests from this instance of HP Systems Insight Manager.
 - Unable to add this instance of HP Systems Insight Manager to the SNMP trap destination list.
 - Unable to restart the Insight Management Agents (version 7.1 or earlier) .Not all changes will be effective. Manually restart the target server when convenient.
 - HP Systems Insight Manager was unable to connect to the target. Retry with administrator credentials for this target.
 - SSH is not installed on the target server. In order to install SSH, use a web browser to browse to HP Systems Insight Manager, select Deploy from the menu, select Install OpenSSH, and follow instructions.
 - SSH could not be fixed on the target server because the user has not logged in. Log in to the target server and then run this tool again for that target.
 - Unsuccessful running mxagentconfig on HP Systems Insight Manager. SSH is not properly configured for the target server. Use SSH white paper for SSH in HP Systems Insight Manager from hp.com to further troubleshoot.
 - Error while retrieving OS name.
 - Error: Windows repair tool execution exception.

- Error when trying to establish SSH connection, to determine operating system name.
- Error: HP-UX SSA tool launch exception.
- Error: Linux SSA tool launch exception.
- Error: Writing SNMP read string.

関連項目

- エージェントの設定および修復
- 概要

用語集

HP Systems Insight Manager	HPのシステム、クラスタ、デスクトップ、ワークステーション、ノートブックを含む、システムの様々な管理機能を持つシステム マネジメント ソフトウェアです。 HP Systems Insight Managerは、HP Insightマネージャ7、HP Tootools、HP Servicecontrolマネージャの長所を組み合わせることにより、Windows、Linux、HP-UXを実行しているHP ProLiantシステム、Integrityシステム、HP 9000システムを管理する、統一されたツールとしてお使いいただけます。HP Systems Insight Managerソフトウェアの中核部分では、すべてのHPサーバプラットフォームの管理に不可欠な機能が提供されます。HP Systems Insight Managerは、HPのストレージ、パワー、クライアント、プリンタ製品のプラグインにより広範囲なシステム管理を提供するように拡張することもできます。Rapid Deployment Pack、Performance Management Pack、Workload Management Packのプラグインは、ハードウェア資産の完全なライフサイクルの管理機能を追加したソフトウェアをシステム管理者が選択することができます。
Simple Network Management Protocol (SNMP)	HP Systems Insight Managerによってサポートされる管理プロトコルのうちの1つ。ネットワークシステムとほとんどのサーバによって広く使用される、従来の管理プロトコル。MIB-2は、すべてのベンダに一貫して提供されている標準情報である。
System Management Homepage	シングルシステム管理を統合してWebベースのアプリケーションを提供します。System Management Homepageは、HP Webベース エージェントおよびマネジメント ユーティリティからデータを収集することで、個々のサーバのハードウェア障害とステータス モニタ、パフォーマンス データ、システム スレッショルド、診断、およびソフトウェア バージョン コントロールを表示する共通の使いやすいインタフェースを提供します。このバージョンは、ProLiantまたはIntegrity Support Pack 7.20以降で利用可能です。
エージェントの設定および修復	エージェントの設定および修復機能は、HP Systems Insight Managerとターゲット システムとの間で確立していた、SNMP 設定および信頼関係の証明書を修復するためのHP Systems Insight Managerのプラグイン機能です。7.1以前のエージェントがインストールされたターゲット システムのWebエージェントのパスワードをアップデートすることもできます。
システム	TCP/IPまたはIPXを介して通信するネットワーク上のノード。システムを管理するには、あるタイプの管理プロトコル（SNMP、DMI、WBEMなど）がシステムに存在する必要がある。システムの例としては、サーバ、ワークステーション、デスクトップ、ハンドヘルド、ルータ、スイッチ、ハブ、およびゲートウェイがある。
マネジメントHTTPサーバ	HTTPおよびHTTPS経由で通信するHPのHP Webベース システム マネジメント ソフトウェアで使用するソフトウェアの統合セット。HP Webベース システム マネジメント ソフトウェア

	アに一定の機能とセキュリティのセットを提供します。このバージョンは、ProLiant Support Pack 7.10以降で利用可能です。
ユーザ	HP Systems Insight Managerに追加されているCMSで有効なログインがあるネットワーク ユーザ。
検出	ネットワーク オブジェクトを検索および識別する管理アプリケーションの機能。HPの管理アプリケーションでは、検出により、指定したネットワーク範囲にあるすべてのHP製システムが検索および識別される。
中央管理サーバ (CMS)	HP Systems Insight Manager ソフトウェアを実行する、管理ドメイン内のシステム。HP Systems Insight Manager内のすべての集中操作は、このシステムから開始されます。
標準出力 (stdout)	プログラムが出力を書き出す、デフォルトの場所。デフォルトは端末ディスプレイ。

索引

H

HPエージェントの設定および修復, 3, 5–7, 12

あ

アップデート, 7

か

開始するには, 5

概要, 3

管理, 6

さ

最新情報, 6

し

修復, 5–7

商標, 3

せ

設定, 3, 5–7

セットアップ, 6

ち

著作権, 3

ほ

法的な注意事項, 3

保証, 3

り

リリース履歴, 3

ろ

ログ

エージェントの設定および修復, 12